

JJL 施工の手引 スチール手すり部材 階段用手すり<パネルタイプ>

このたびは、パルのスチール手すり部材をお買い上げいただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みの上、商品を正しく施工していただきますようお願いいたします。

1. 安全上のご注意

設置工事の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置して下さい。

●表示内容を守らず誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

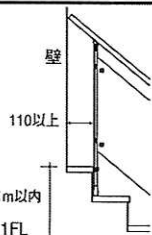
⚠ 注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

🚫 禁止 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 **🔒 強制** この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 注意

手すり支柱間隔は110mm以下にして下さい。支柱の間から転落・落下事故の発生につながります。



強制

手すり支柱間隔が110mm以上になる場合は、1m以内の高さでお使い下さい。

廊下、踊り場、吹き抜け部などの水平部分には取り付け出来ません。



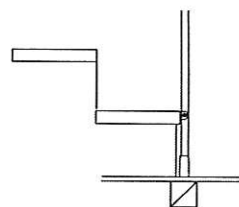
強制

- ・業務用や屋外用には使用できません。一般住宅の屋内用です。
- ・業務用、屋外、浴室などには使用しないで下さい。



強制

- ・親柱を取り付ける床部には30mm角以上の木質材料を使用してください。
- ・踏み板の段鼻部分がR形状の階段には取り付けることが出来ません。



強制



注意

手すり部分の取り付けは、ぐらつきや、脱落のないようしっかりと固定して下さい。手すり部材がぐらついたり、脱落すると落下事故が発生する事があります。

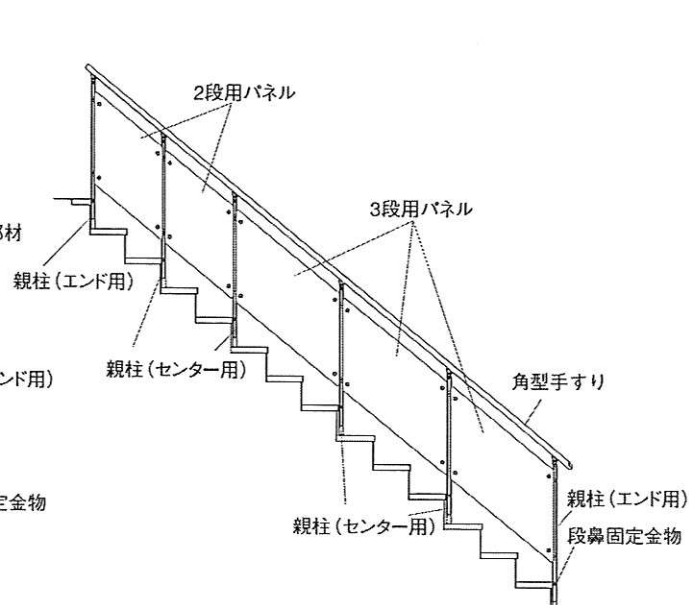
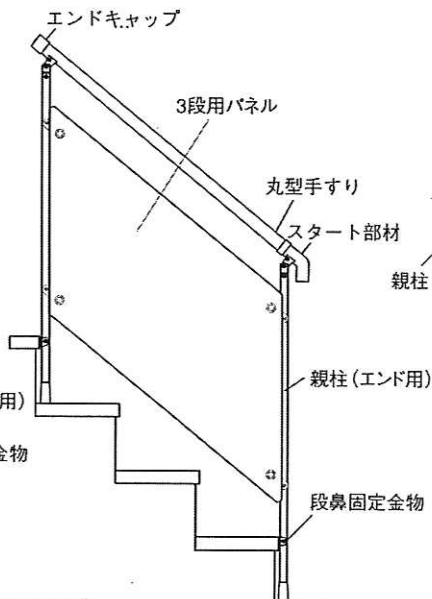
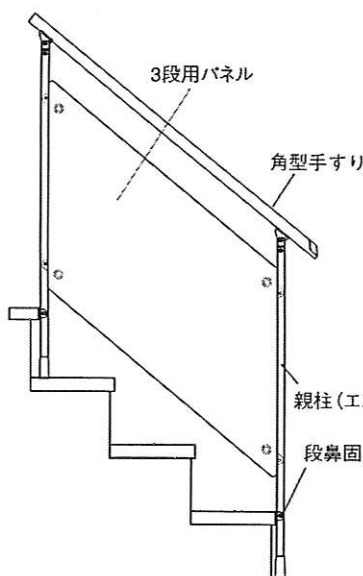
手すりに上がったりぶら下がったりしないでください。手すりの破損、転落事故の発生する恐れがあります。

2. 基本納まり図

角型手すり(4段上り切り)

丸型手すり(4段上り切り)

角型手すり(14段上り切り)



※パネルは片面マット仕上げ(マット面が外側)

3. 部材リスト

階段用パネルタイプ

丸型手すり用			
品名	部品名	数量	備考
親柱(エンド用)丸型手すり用 2本セット (KRTP-2131)	親柱	2本	
	支柱下部カバー	2個	
	下ベース	2個	
	段鼻固定金物	2個	
	柱固定ビスセット	2セット	トラスM5×12(2本) ナベφ4.5×30(2本)
	段鼻固定ビスセット	2セット	皿φ4.5×30(2本) ドリルビス4×19(2本)
	手すり固定ビス	4本	丸皿φ3.5×20
	パネル取付用スプーサー1	1セット	パネル取付用スプーサー1(4個) ナベM5×12(4本)
	パネル取付部材	1セット	パネル緩衝材スプーサー(4個) パネル緩衝ゴム(4個) パネル緩衝ゴム用ワッシャー(4個) セットキャップカバー(4個) セットキャップボルト(4個)
	親柱セット 丸型手すり用 エンド用2本 センター用1本 (KRTP-2132)	親柱	3本
支柱下部カバー	3個		
下ベース	3個		
段鼻固定金物	3個		
柱固定ビスセット	3セット	トラスM5×12(2本) ナベφ4.5×30(2本)	
段鼻固定ビスセット	3セット	皿φ4.5×30(2本) ドリルビス4×19(2本)	
手すり固定ビス	6本	丸皿φ3.5×20	
パネル取付用スプーサー1	1セット	パネル取付用スプーサー1(4個) ナベM5×12(4本)	
パネル取付用スプーサー2	1セット	パネル取付用スプーサー2(2個) ナベM5×12(2本)	
パネル取付部材	2セット	パネル緩衝材スプーサー(4個) パネル緩衝ゴム(4個) パネル緩衝ゴム用ワッシャー(4個) セットキャップカバー(4個) セットキャップボルト(4個)	
親柱(センター用)丸型手すり用 2本セット (KRTP-2133)	親柱	2本	
支柱下部カバー	2個		
下ベース	2個		
段鼻固定金物	2個		
柱固定ビスセット	2セット	トラスM5×12(2本) ナベφ4.5×30(2本)	
段鼻固定ビスセット	2セット	皿φ4.5×30(2本) ドリルビス4×19(2本)	
手すり固定ビス	4本	丸皿φ3.5×20	
パネル取付用スプーサー2	1セット	パネル取付用スプーサー1(4個) ナベM5×12(4本)	
パネル取付部材	2セット	パネル緩衝材スプーサー(4個) パネル緩衝ゴム(4個) パネル緩衝ゴム用ワッシャー(4個) セットキャップカバー(4個) セットキャップボルト(4個)	

階段パネル			
KRTP-2541-R	2段用 右	1枚	プレカット 厚さ:8mm
KRTP-2541-L	2段用 左	1枚	プレカット 厚さ:8mm
KRTP-2542-R	3段用 右	1枚	プレカット 厚さ:8mm
KRTP-2542-L	3段用 左	1枚	プレカット 厚さ:8mm

階段用パネルタイプ

角型手すり用			
品名	部品名	数量	備考
親柱(エンド用)角型手すり用 2本セット (KRTP-2121)	親柱	2本	
	支柱下部カバー	2個	
	下ベース	2個	
	段鼻固定金物	2個	
	柱固定ビスセット	2セット	トラスM5×12(2本) ナベφ4.5×30(2本)
	段鼻固定ビスセット	2セット	皿φ4.5×30(2本) ドリルビス4×19(2本)
	手すり固定ビス	4本	丸皿φ3.5×20
	パネル取付用スプーサー1	1セット	パネル取付用スプーサー1(4個) ナベM5×12(4本)
	パネル取付部材	1セット	パネル緩衝材スプーサー(4個) パネル緩衝ゴム(4個) パネル緩衝ゴム用ワッシャー(4個) セットキャップカバー(4個) セットキャップボルト(4個)
	親柱セット 角型手すり用 エンド用2本 センター用1本 (KRTP-2122)	親柱	3本
支柱下部カバー	3個		
下ベース	3個		
段鼻固定金物	3個		
柱固定ビスセット	3セット	トラスM5×12(2本) ナベφ4.5×30(2本)	
段鼻固定ビスセット	3セット	皿φ4.5×30(2本) ドリルビス4×19(2本)	
手すり固定ビス	6本	丸皿φ3.5×20	
パネル取付用スプーサー1	1セット	パネル取付用スプーサー1(4個) ナベM5×12(4本)	
パネル取付用スプーサー2	1セット	パネル取付用スプーサー2(2個) ナベM5×12(2本)	
パネル取付部材	2セット	パネル緩衝材スプーサー(4個) パネル緩衝ゴム(4個) パネル緩衝ゴム用ワッシャー(4個) セットキャップカバー(4個) セットキャップボルト(4個)	
親柱(センター用)角型手すり用 2本セット (KRTP-2123)	親柱	2本	
支柱下部カバー	2個		
下ベース	2個		
段鼻固定金物	2個		
柱固定ビスセット	2セット	トラスM5×12(2本) ナベφ4.5×30(2本)	
段鼻固定ビスセット	2セット	皿φ4.5×30(2本) ドリルビス4×19(2本)	
手すり固定ビス	4本	丸皿φ3.5×20	
パネル取付用スプーサー2	1セット	パネル取付用スプーサー2(2個) ナベM5×12(2本)	
パネル取付部材	2セット	パネル緩衝材スプーサー(4個) パネル緩衝ゴム(4個) パネル緩衝ゴム用ワッシャー(4個) セットキャップカバー(4個) セットキャップボルト(4個)	

※階段パネルの方向性

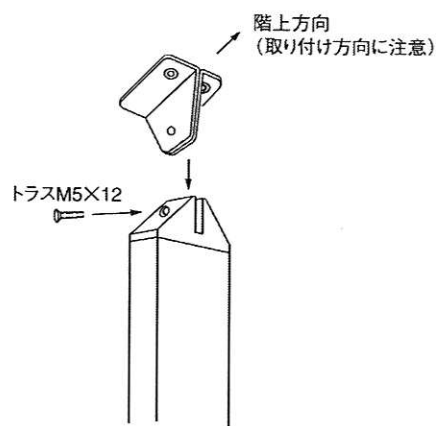
パネルは、外側面と内側面仕上りが異なります。(マット面が外側面)になります。
階下から見たときの手すりの取り付け位置でR(右)、L(左)をきめます。

4. 施工説明

1. ブラケットの取り付け(角型手すりの場合のみ)

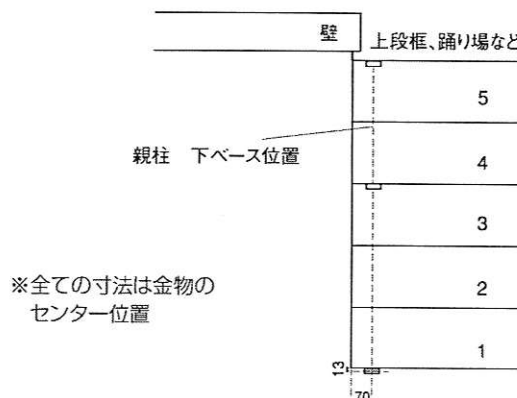
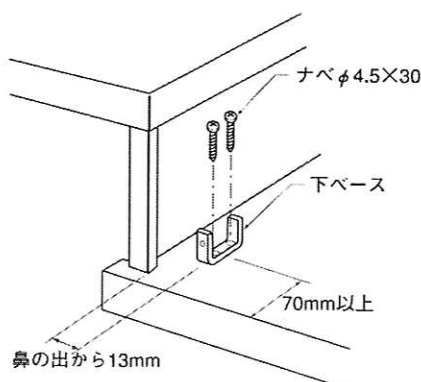
- 同梱の角型手すりブラケットを親柱、子柱に取り付けます(トラスM5×12)。
- 図のようにブラケットが伸びている方向が上になります。
逆に取り付けますと手すりが取り付けなくなりますので
ご注意ください。

※丸型手すり支柱にはブラケットがあらかじめ取り付けられています。

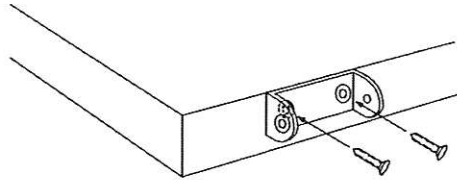


2. 親柱の取り付け

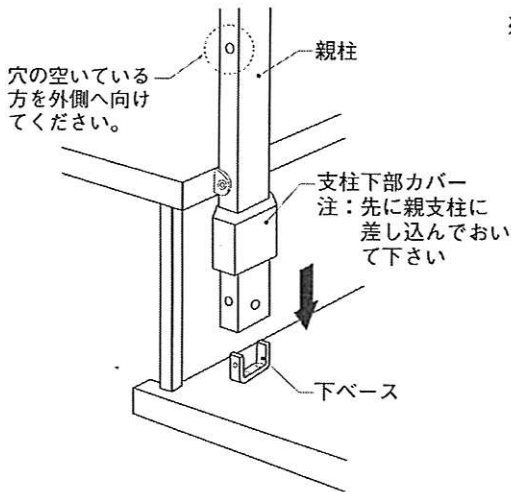
- 下ベース位置の芯出しを行い、ビス止め位置に下穴(φ3.5)を開けてからビス(ナベφ4.5×30)止めしてください。



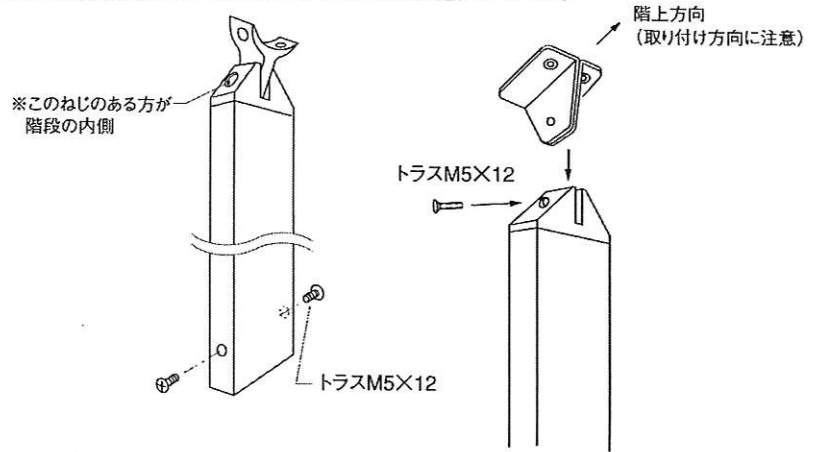
- (2) 段鼻固定金物位置の芯出しを行いビス止め位置に下穴(φ3.5×25~30mm)を開けてからビス(皿φ4.5×30mm)止めしてください。
 ※ 金物は段鼻の上面合わせにしてください。



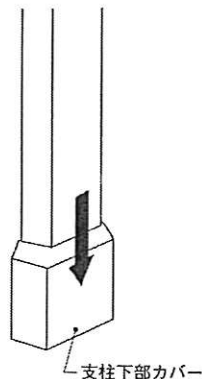
- (3) 親柱に支柱カバーを差し込んでから、親柱を下ベースに差込みビス(トラスM5×12)止めしてください。
 親柱を踏み板段鼻面に押し当てて垂直になっていることをご確認ください。支柱が傾いているときは、下ベースを止めているビスを緩め位置調節を行ってください。なお、下ベースを固定するビスを強く締め付けると下ベースが踏面に食込むことがありますのでご注意ください。



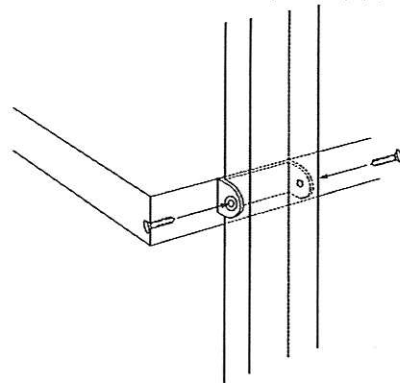
※ 親柱には取り付け方向がありますのでご注意ください。



- (4) 親柱下部カバーを下げてください。



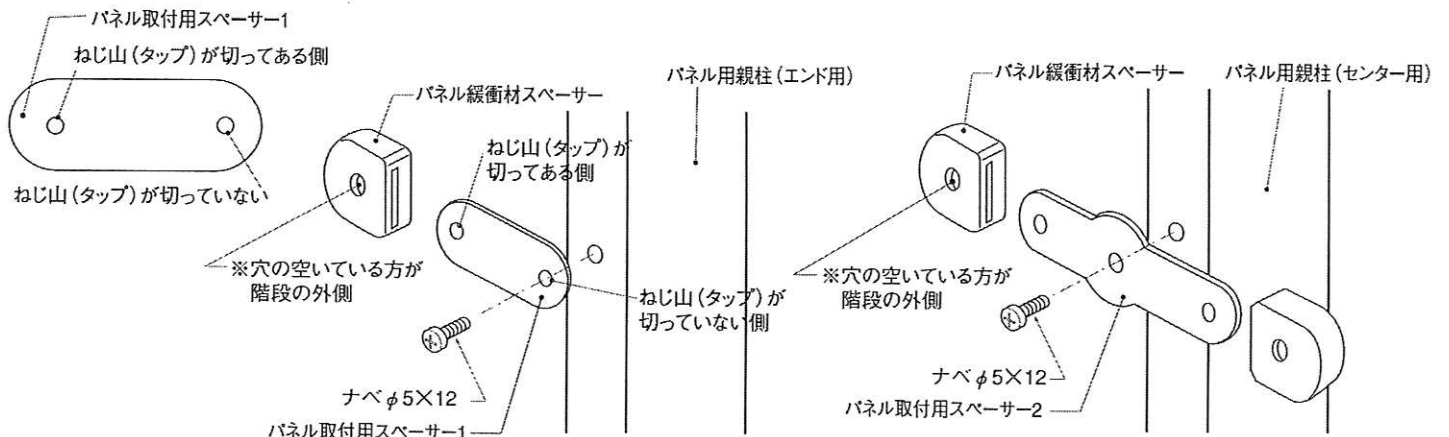
- (5) 段鼻固定金物と親柱の固定はセルフドリルビス(φ4×19)を使い両側より固定します。段鼻固定金物と親柱に隙間が無いように、垂直に取り付けてください。セルフドリルビスは先端に錐が付いているので、下穴なしで取り付けできます。



3. パネルの取付け

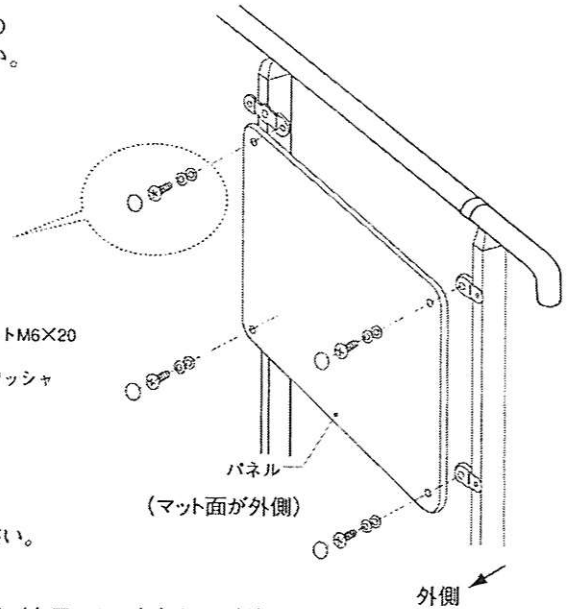
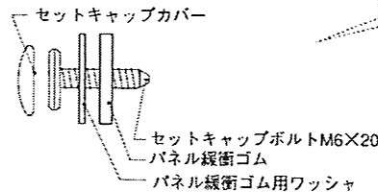
- (1) パネル用親柱にパネル取付用スペーサー1あるいは2をビス(ナベM5×12)で仮固定してください。
 (2) パネル取付用スペーサー1あるいは2にパネル緩衝材スペーサーをはめ込んでください。(方向性あり。下図※印参照)

※ パネル取付用スペーサー1は左右があります。ねじ山(タップ)が切っていない側を親柱に取り付けて下さい。



- (3) セットキャップボルトにパネル緩衝ゴム用ワッシャ(鉄製)、パネル緩衝ゴムの順番にはめ込み下図の様にパネルを挟み込みボルトを仮固定してください。
- (4) パネルと親柱のすき間を見ながら位置調整をしビス(ナベM5×12)(パネル取付用スペーサー固定)、セットキャップボルト(パネル固定)を本締めしてください。
- (5) セットキャップボルトにセットキャップカバーを取付けてください。

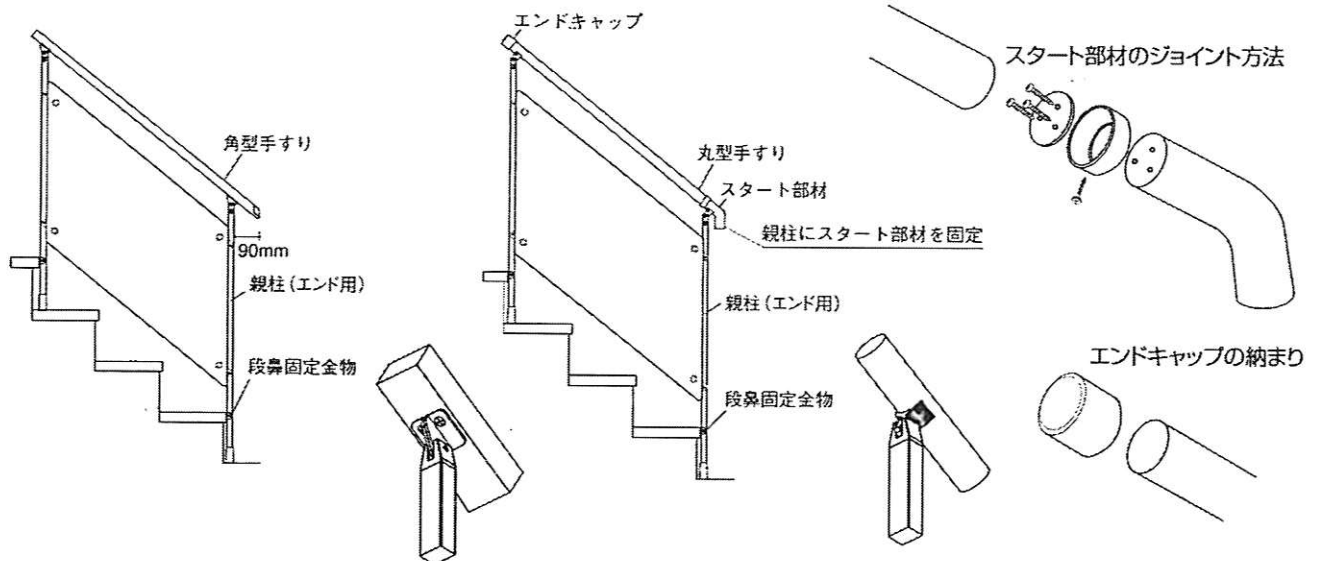
※パネルは片面マット仕上げ(マット面が外側)



4. 手すりの取り付け

角型手すりの場合

- (1) ブラケットを固定しているビスをすこし緩め、ブラケット部が自由に動く状態にしてください。
- (2) 手すりを親柱のブラケット部に仮置きし、手すりの長さ寸法出しを行ってください。
手すりの先端が親柱から90mm程度出る位置を目安に位置出ししてください。
- (3) 親柱のブラケットのビス止め部で、手すりに下穴を開け、手すりとブラケットをビス(丸皿3.5×20)止めしてください。
- (4) 手すりを取り付けた後、ブラケットと支柱を固定しているビスを増し締めし、確実に固定してください。
- (5) 最上段の親柱のブラケットを角型手すりに固定する際は、壁がじゃまとなりドライバーが入りにくいことがあります。その場合角型手すりに固定するブラケットの位置出しを行い、ブラケットを親柱からはずし、手すりに取り付けた後、ブラケットを親柱に差し込み固定してください。



丸型手すりの場合

- (1) 首振りブラケットを固定しているビスを少し緩めブラケット部が自由に動く状態にしてください。
- (2) 手すりを親柱のブラケット部に仮置きし、手すりの長さ寸法出しを行ってください。
[丸型手すり用スタート部材]は図のように、親柱に本部を取り付けるように削り付けてください。
- (3) スタート部材のジョイント金具を用い、手すりを連結してください。ジョイント金物の穴の向きが見えにくい方向になるようにしてください。
- (4) 親柱のブラケットのビス止め部で、手すりに下穴を開け、手すりとブラケットをビス(丸皿3.5×20)止めしてください。
- (5) 手すり固定後、ブラケットを固定しているビスを本締めしてください。
- (6) エンド部にはエンドキャップをお使いください。

5. 施工後の確認

施工が完了したら、手すりにがたつきがないか、金属部のビスが確実に締結されているか確認ください。緩みがあれば確実に締め直して下さい。

株式会社 **パール**